

令和5年度 第5号 小学校中学年版

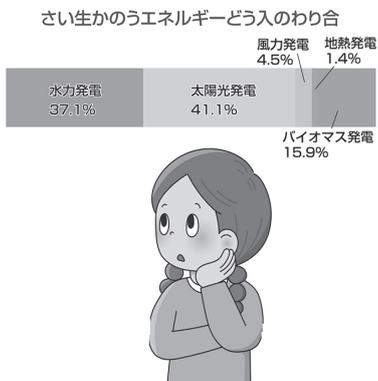
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
太陽光発電とカーボンハーフ

年 組 名前

- ① さい生かのうエネルギーとカーボンハーフには、どのような関わりがあるのか、考えましょう。



- ② 「さい生かのうエネルギーどう入のわり合」のグラフから分かることや思ったことを書きましょう。



- ③ ペロブスカイト太陽電池が実用化されたら、どのような場所にせっ置できるのか、考えましょう。



カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~ 太陽光発電とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- 再生可能エネルギーについて理解し、再生可能エネルギーは枯渇しないことや温室効果ガスをほとんど出さないことを知る。
- 発電における再生可能エネルギー各種の割合を理解する。
- 東京都が取り組む太陽光発電を知る。
- 再生可能エネルギーを使った新しい発電技術について知る。
- 新しい技術をどのように使うか等、自分たちが参加できる温室効果ガス削減について考え、実践しようとする意欲をもつ。

③本教材で扱う 主な内容

再生可能エネルギーを使った発電と温室効果ガスの関係、カーボンハーフを実現するための発電の取組、自分たちにできる温室効果ガス削減対策

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、再生可能エネルギーについて知り、再生可能エネルギーとカーボンハーフがどのように関わっているのかを考える。	○ 再生可能エネルギーについて説明する。 ○ 再生可能エネルギーによる発電は、自然の力を使っているため、温室効果ガスをほとんど出さないことを考えさせる。	◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート① ◆ カーボンハーフスタイル推進資料2号
○ 掲示用教材②を見て、気が付いたことや思ったことを話し合う。	○ 再生可能エネルギー導入のそれぞれの割合や現状など、気が付いたことや思ったことを発表させる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材③を見て、東京都が進める再生可能エネルギーの取組の一つである太陽光発電を知る。	○ 都の施設に設置している太陽光発電について説明する。	◆ 掲示用教材③
○ 掲示用教材④を見て、新しい太陽電池について知る。	○ ペロブスカイト太陽電池を紹介する。	◆ 掲示用教材④
○ 掲示用教材⑤を見て、ペロブスカイト太陽電池が実用化されたら、どのようなところに設置できるか考える。	○ 軽くて曲げることができることから、身近なところにも設置できることを説明する。 ○ 考えたことを発表させる。	◆ 掲示用教材⑤ ◆ ワークシート③ ■ 資源エネルギー庁 再エネキッズシティ ■ 環境局 「わが家の環境局長」事業 ■ 東京都教育庁 カーボンハーフスタイルチャレンジ

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料1号から5号の教材、指導資料、ワークシート、イラストや図表等を公開しています。

